



No. 104

平成22年7月31日号

二輪車安全普及協ニュース

発行所

(社)全国二輪車安全普及協会

編集・発行人 中藪善廣

〒164-0012

東京都中野区本町2-28-11

TEL 03-3372-5156

ホームページ

<http://www.nifukyo.or.jp>

Motorcycle Safety Association News



平成22年度通常総会を開催

社団法人 全国二輪車安全普及協会 通常総会

新会長に福井威夫氏を選任

全国二輪車安全普及協会（全国二普協）は5月21日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で平成22年度通常総会を開催した。平成21年度の事業報告案及び収支決算、22年度の事業計画案並びに収支予算を審議・承認した。また、任期満了に伴う役員改選で、青木哲氏に代わり、本田技研工業(株)取締役相談役の福井威夫氏を会長に選任した。

平成22年度の事業計画では、①二輪車安全運転普及活動、②二輪車防犯活動 — の2点を基本事業と定め、各種施策を展開する。“安全運転普及活動”では特に、グッドライダー・ミーティング(以

下「G・ミーティング」という。)の全都道府県での開催と効率的な運営に向けた各種支援策を展開する。

“二輪車防犯活動”では、二普協事業の柱である「グッドライダー・防犯登録制度」(以下「G・防犯登録制度」という。)の普及促進に向け、銘柄別・都道府県別の新車登録計画の策定と達成や主力外車銘柄への登録推進協力などを求めていくこととしている。また、二輪車盗難照会システムでは加盟店数の目標を3,500店とし、未稼働店に対するPRを展開していく。

◆目次◆

■平成22年度通常総会を開催	1
青木哲会長あいさつ	3
石井隆之警察庁交通局長祝辞	4
平成21年度事業報告／平成22年度事業計画	4
意見交換会あいさつ	7
■全国二普協、新会長に福井威夫氏	9
■山梨県に警察庁・全国二普協連名表彰	10

■G・ミーティング、5県で初開催	11
■3都県二普協が警察等から感謝状	12
■4府県二普協前専務理事に感謝状	12
■山梨二普協、運輸支局の街頭検査に協力	12
■DATA	
G・防犯登録、累計278万件を突破／他	13
■APEC首脳会議等開催に伴う警備協力について	16

さらに厳しさを増す二輪市場環境 なお一層の努力・協力を

平成22年度通常総会には、青木会長をはじめ、役員、都府県二普協会長、専務理事ら73名が出席した。また、来賓として警察庁の石井隆之交通局長のご出席をいただいた。

議事に先立ち、青木会長が挨拶、続いて石井局長から祝辞をいただいた。

青木会長はまず、“二輪車安全普及活動”について触れ、昨年の二輪車乗車中の交通事故死者数が9年連続で減少したことについて「積極的なG・ミーティングの開催や安全啓発活動など、皆さんの平素における関係各機関・団体との緊密な連携とご尽力による成果の現われ」と感謝の言葉を述べた。続いて“二輪車防犯活動”について、昨年度末のG・防犯登録率が新車出荷台数比の48.7%と目標の55%の及ばなかったことに対して、厳しい市場環境にもかかわらず、それぞれの都府県・地区二普協の実情に即した達成感の持てる目標数値の設定や地域間格差の解消などに取り組んだことで「少しずつではあるが改善されてきた」と一定の評価をした。さらに、22年度の事業計画について、「二輪車を取り巻く市場環境は更に厳しさを増している」として、「計画達成へ向け、皆さんの力強いご協力をお願い申し上げます」と強調した。

○●○○○

続いて石井局長は、日頃の二普協活動への謝意を示す一方で、二輪車乗車中の交通事故死者数の減少率が四輪車に比べて小さいこと、また30歳代から60歳代の自動二輪車の事故死者数が増加に転じていることを「憂慮すべき状況」と指摘した上で、「今後とも情勢に応じ、効果的な講習の実施に努めていただきたい」とG・ミーティングをはじめする安全運転講習の一層の充実を求めた。また、G・防犯

登録制度についても「こうした取り組みを今後とも継続するとともに、一層の充実をお願いする」と述べた。

一方、都市部を中心に課題となっている“駐車規制”について「比較的柔軟に考えている」とした上で、「駐車違反の状況とか、地域の方々の要望に応じて、定期的に見直しをしている」と強調した。

○●○○○

総会は、定款の定めにより青木会長が議長に就任。第1号議案「平成21年度事業報告」、第2号議案「平成21年度収支決算」、第3号議案「平成22年度事業計画」、第4号議案「平成22年度事業報告」、第5号議案「平成21年度通常総会で議決された『新公益法人取得申請に伴う定款変更案の作成及び今後のスケジュール』の変更」、第6号議案「役員の変更」の6議案を審議した。各議案の詳細説明は古川専務理事・中蘭常務理事が行い、6議案すべてが承認された。

○●○○○

通常総会終了後、新役員による理事会が開催された。理事の互選により、新会長に福井威夫・本田技研工業(株)取締役相談役、新専務理事に國枝英郎氏を選任した。





平成22年度通常総会あいさつ

社会やお客様から期待される二普協活動を

全国二普協会長 青木 哲

本日の総会にはご多忙中にもかかわらず警察庁から石井隆之交通局長様をはじめ、当協会の役員・会員各位のご出席を賜り、誠にありがとうございます。皆様には平素から当協会の事業活動に格別のご指導・ご支援をいただき、この席をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

また、この度、警察庁におかれましてはグッドライダー防犯登録実績優秀県に対し交通局長・生活安全局長及び全国二輪車安全普及協会長の三者連名の表彰状を授与していただき、重ねて御礼申し上げます。

本表彰状を授与された山梨二輪車安全普及協会の皆さん、グッドライダー防犯登録実績優良県の大分県、京都府、広島県、山口県、福岡県二輪車安全普及協会の皆さん、また、二輪車の交通安全普及活動実施優秀県として全国二輪車安全普及協会会長賞を授与された静岡県二輪車安全普及協会の皆さんには、心よりお祝い申し上げますとともに、今後尚一層のご活躍を祈念申し上げます。

さて、本日の会議では平成21年度事業報告と収支決算、及び平成22年度事業計画と収支予算、並びに平成21年度通常総会において議決されました「新公益法人取得申請に伴う定款変更案の作成及び今後のスケジュール」の変更についてお諮りし、併せて本年度は役員改選期に当たりますので、役員改選についてもご審議をお願いいたします。

それでは議事に先立ちまして一言申し述べたいと思います。

平成21年度の二普協事業につきましては、一昨年を経済危機の影響を受け、緊急避難的な措置として大幅な予算削減の元での事業活動の展開となりました。その後も国内二輪車販売台数の大幅な落ち込み等もあり、厳しい環境下で何かと皆様にもご苦労が多かったことと推察しております。

まず、二普協活動の大きな柱である安全普及活動についてですが、昨年交通情勢は官民一体となった交通安全普及活動への取り組みの結果、交通事故死者数は4,914人で前年比241人、4.7%の減少で昭和27年以来

57年振りに4千人台となりました。また、発生件数、負傷者数ともに5年連続の減少となりました。

二輪車乗車中の事故死者数は886人と、前年比104人、10.5%の減少で9年連続の減少となりました。その内訳は原付乗車中の事故死者数は359人で前年比64人、15.1%の減少、また、一昨年僅かながら増加傾向にありました自動二輪車乗車中の事故死者数は527人で前年比40人、7.1%の減少となっております。これらは積極的なG・ミーティングの開催や安全啓発活動など、皆さんの平素における関係各機関・団体との緊密な連携とご尽力による成果の現われであると感謝致しております。

もうひとつの柱である二輪車の防犯活動については、昨年は厳しい市場環境にもかかわらず、新車出荷台数に対するG・防犯登録率は一昨年度末の37.8%、昨年度末の46.8%そして本年3月末の48.7%と目標の55%には及ばなかったものの、それぞれの都府県・地区二普協の実情に即した達成感の持てる目標数値の設定や、長期にわたる登録率低迷県への対応及び地域間格差の問題解消のための施策を実施して頂き、少しずつではありますが、改善されてまいりました。

平成22年度の事業は、国内二輪の需要がさらに減少する予測であることから、緊縮予算の中で、効率的かつ重点的な事業推進とし、特にG・ミーティングは全県開催、G・防犯登録は新車登録率55%の約19万5千件、中古車等約12万件の合計31万5千件の目標必達に向け、皆様の尚一層のご努力、ご協力をお願い致します。

次に昨年の通常総会で皆さんにご承認をいただきました「新公益法人取得申請に伴う定款変更案の作成及び今後のスケジュール」につきましては、これまでの公益法人取得申請に向けた準備作業の中で、主にガバナンスの構築や定款案の作成及び申請に必要な諸規程の整備等を中心に推進してまいりました。

しかしながら昨年ご承認をいただいた後、二輪車を取り巻く市場環境は更に厳しさを増しており、今後、社会やお客様から期待される二普協活動はどのようなものか、また、その裏づけとなる安定的な経済基盤の確保等について、もう一度再検討する必要があると

考え、現行計画の変更について提案させていただきます。皆さんの忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。

また、理事・監事の役員につきまして、本年度は改選期に当たりますので、ご審議をお願いします。

二普協を取り巻く諸情勢は、何度も申し上げますよ

うに、厳しさを増しておりますが、まずは当面の平成22年度事業計画達成へ向け、皆さんの力強いご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日ご出席の皆様のご健勝とご発展をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

平成22年度通常総会あいさつ



二輪が安全で使い易い乗物となるよう

警察庁交通局長 石井 隆之

ただいまご紹介を賜りました警察庁交通局長の石井でございます。

平成22年度社団法人全国二輪車安全普及協会の通常総会に当たります、一言ご挨拶を申し上げます。

ご出席の皆様方には、平素から二輪車の交通安全及び防犯対策の推進につきまして、一方ならぬご尽力を賜っていることに対し、この機会を借りまして厚くお礼を申し上げます。

また、ただいまグッドライダー・防犯登録制度の普及促進にあたり、二輪車の交通安全と盗難防止に多大の貢献をされたご功績により、栄えある表彰を受けられました山梨県二輪車安全普及協会様をはじめ表彰を受けられた方に心からお祝いを申し上げる次第でございます。

交通事故の情勢につきましては、自動二輪車及び原付乗車中の交通事故死者数は、この10年間で減少はしているものの、四輪車の減少率に比較して減少幅が狭く、特に自動二輪車では30歳代から60歳代の事故死者が増加している状況にあり、憂慮すべき状況だと考えております。

皆様方におかれましては、グッドライダー・ミーティングなど安全運転講習を通じ、二輪車の交通事故防止活動に積極的に取り組んでいただいているところでございますが、今後とも情勢に応じ、効果的な講習の実施に努めていただきたいと思います。

また、グッドライダー防犯登録制度につきましては、

本年4月末現在、登録件数が約280万件を数え、さらに、平成17年8月に運用を開始されました二輪車盗難照会システムにつきましても、二輪車の盗難防止と被害回復に成果を挙げております。こうした取り組みを今後とも継続するとともに、一層の充実に努めていただきたいと思います。

二輪車については、現在、利用者の利便性を考えたような駐車規制はできないだろうかということで、今、いろいろと検討しているところでございます。先般、初めての試みとして、台数は多くございませんが、二輪車を対象としたパーキング・チケットを設置いたし試験的に運用を実施しているところでございます。

駐車規制につきましても、見直しをしております、民間の駐車監視員にやっていただく区域をガイドラインという形で公表して、駐車取締りの重点区域として運用しておりますが、このガイドラインにつきましても、駐車違反の状況や地域の要望に応じて、定期的に見直しをしているところでございますので、その際、皆様からもご意見を賜ればと思っております。

警察としては、皆様方とともに、二輪車が安全で使いやすい乗り物となるように、これからも努力してまいります。

最後になりますが、全国二輪車安全普及協会のますますのご発展と、ご参会の皆様のご健勝を祈念いたしまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

平成21年度事業報告（要旨）

▽二普協事業

I 各種安全運転指導活動の推進

- 1 店頭個別安全指導活動 = 実施人数426,950人（前年比15.9%減）

2 街頭点検個別指導活動 = 実施回数418回 (同8.6%増)、指導にあたった会員数1,872人 (同20.7%増)、点検車両台数16,251台 (同3.4%減)

3 二輪車の各種安全運転講習の推進

○グッドライダー・ミーティング = 開催都府県数37 (同27.6%増)、開催回数86回 (同17.8%増)、受講者数3,696人 (同22.8%増)

○二輪車安全運転講習 = 開催回数277回 (同12.6%減)、受講者数4,856人 (同3.3%増)

○原付講習 (法定) = 開催回数9,855回 (同3.0%減)、受講者数155,742人 (同6.8%減)

○原付安全運転講習 = 開催回数167回 (同5.6%減)、受講者数2,777人 (同18.4%減)

○高校生に対する安全運転講習 = 講習回数497回 (同27.1%減)、受講者数29,164人 (同28.1%減)

○高齢運転者に対する安全運転講習 = 開催回数90回 (同8.4%増)、受講者数1,849人 (同9.0%増)

○地域二輪車安全普及協会等のその他の講習 = 開催回数1,920回 (同6.0%減)、受講者数45,633人 (同11.9%増)

4 原付免許取得協力活動の推進

○店頭での原付免許取得に資する情報の提供 = 原付免許受験者数350,028人 (同5.5%減)、合格者数200,511人 (2.9%減)

○ホームページの改訂 = 免許取得の手引、交通関係の基礎知識、模擬試験問題部分の大幅改訂。アクセス件数は458,623件 (同150.0%増)

○各種教材の改訂 = 「バイクと法令」等を法令改正等に合わせて、ルビを附記する等内容を見直した。

5 二輪車安全運転指導員等の認定 = 特別指導員58人、指導員247人、合計305人。21年12月末現在数は特別指導員2,487人、指導員8,697人、合計11,184人 (同1.1%減) となった。

II 二輪車安全運転推進運動の実施

○秋の全国交通安全運動と並行して、関係省庁の指導・後援と関係団体の協力・協賛を得て、二普協の全国組織をあげて運動を展開。

今回から重点項目を絞り、効果的な安全運転指導の展開に努めた。

・運動の重点 = 交通マナーアップを中心とした安全運転知識の向上の指導

・具体的推進項目 = 「ヘルメットの正しい着用方法の

指導啓発の推進とプロテクター着用の推奨」「交差点、カーブにおける安全走行方法等の指導」「高速道路等における自動二輪車の二人乗りの安全走行方法等の指導」「二輪車の駐車マナーの向上・ルールの遵守等の指導」「G・ミーティング及びG・防犯登録制度の紹介と参加・加入の奨励」「ポスター・チラシの掲示・配布」

II G・防犯登録制度及び二輪車盗難照会システム業務の推進

1 G・防犯登録制度

○G・防犯登録制度の登録件数 = 21年中の登録件数は295,810件 (同16.7%減)、出荷台数比77.7%。21年度末の累計登録件数は2,807,429件となった (平成14年3月以前は削除)。

○制度普及のための対策 = それぞれの都府県・地区二普協の実情に即した達成感の持てる登録目標数値の設定や長期にわたる保有台数比1桁県に対する対策の実施。また、安全普及活動と連携したポスター・チラシ等を作成・配布するとともに、ホームページも活用した。

○制度普及促進のための情報の提供と共有化 = 警察庁から入手する毎月の二輪車盗難件数やG・防犯登録件数等を集約した資料を都府県・地区二普協に送付した。

2 二輪車盗難照会システム

○21年度末のシステム会員数は3,301店で、照会件数は948,509件となった。平成17年8月からの累計照会件数は3,199,507件となった。

○システム加入の条件であるG・防犯登録実績の認められない販売店等に対し、システム運用の実態と意思確認を行うための文書を発出するとともに、効果の認められない販売店の運用を停止した。あわせて、加盟販売店の加入促進に努めた。また、安全普及活動と連携したポスター・チラシを作成・配布するとともにホームページで広報を行った。

▽協力事業

I 各種交通安全運動への参加協力

- 1 関係省庁・関係団体が行う広報活動
- 2 春・秋の全国交通安全運動
- 3 交通事故死0を目指す日
- 4 二輪車安全運転推進委員会の事業活動
- 5 二輪車安全運転全国大会

- 6 交通安全フェア・バイクの日
- II 指導員の養成に対する協力
 - 1 指導員の養成、研修及び審査
 - 2 特別指導員の養成、研修及び審査
- III 二輪車の健全利用及び環境対策への協力
 - 1 二輪車防犯活動
 - 2 公害防止、不正改造防止及び改造車の復元指導
 - 3 自賠責保険広報キャンペーン
 - 4 各種モーターサイクルスポーツ開催
 - 5 二輪車リサイクル事業
 - 6 災害ボランティア活動

▽二普協組織の管理運営

- 1 全国二普協関係

- ・会議の開催、役員の変更、内部検討会の実施、各ブロック事務局の担当専務理事会議の開催、都府県・地区二普協との連携
- 2 都府県・地区二普協関係
 - ・各ブロック協議会、都府県・地区二普協関係会議、都府県・地区二普協業務の活性化の検討
- 3 地域二普協関係
 - ・地域二普協数475(250減)、支部数425(178増)、分会33(18増)、総数986
 - ・地域協会による二輪車安全競技会、イベント等＝501回開催、1,683人が協力、108,702人のライダーが参加

平成22年度事業計画（要旨）

▽基本事業及び推進項目並びに実施細目

1 二輪車安全普及活動

○店頭個別安全運転指導活動の推進

- (1) 安全運転指導ポイント（三つ折りチラシ）資料の積極的活用
- (2) 安全運転指導員在籍店の拡大と周知徹底
 - ・各県指導員審査実施情報の発信及び動員
 - ・指導員のいる店ステッカーの有効活用

○免許取得協力活動の推進

- (1) ホームページでの情報発信と定期的な更新
- (2) 「バイクと法令」（警察庁監修）等効果的活用

○各種安全運転講習会の開催

- (1) G・ミーティングの開催
 - ・ホームページでの各県開催状況等の発信
 - ・既実施県は年1回以上の継続実施、未実施県（9県）は年1回開催を目標
 - ・全国統一開催告知ポスター等の作成による効率化
 - ・受講者に対する傷害保険の一括管理（加入）による効率化
 - ・運営方法のマニュアル化
 - ・G・ミーティング指導員に対するレベルアップ講習会の開催
 - ・警察庁及び各都道府県警察との緊密な連携と協力依頼の要請
 - ・個人情報の適正な保管管理についての指導の徹底
- (2) 高校生を対象とした安全運転講習会の開催

○安全運転意識向上活動の推進

- (1) 「二輪車安全運転推進運動」による安全運転意識の啓発と交通事故防止活動の推進
 - ・安全運転推進活動の強化と期間中における重点的かつ効果的な安全運転指導活動の実施
 - ・ライダーのマナーアップのための既存のポスター等の有効活用
 - ・ホームページでの広報活動
 - ・関係各機関、団体との連携

○関係各機関、団体との連携活動の推進

- (1) 二輪車安全運転全国大会、同県予選大会への協力支援
 - ・来年度以降の効率的見直し案の検討と提案
- (2) 指導員体制の強化
 - ・二推と連携した指導員資格取得の推進と指導員養成講習の開催
- (3) 各種交通安全運動及びイベント等への参加と支援協力
 - ・情報入手と共同開催等への働きかけ
- (4) 二輪車の健全な利用環境及び環境対策活動等への協力
 - ・防犯対策、駐輪場対策、リサイクル事業、災害ボランティア活動、自然環境保護活動等に対する協力
- (5) ホームページでの各種広報活動

2 二輪車防犯活動

○G・防犯登録制度の普及促進

- (1) 警察庁へG・防犯登録推進協力依頼の要請
 - ・警察庁及び各都道府県警察との緊密な連携と協力依頼の要請
 - (2) 銘柄別・都道府県別のG・防新車登録計画の策定と達成（達成率・登録件数）
 - (3) 外車新車+中古車のG・防登録計画の策定と達成（登録件数）
 - ・主力外車銘柄へのG・防登録推進協力依頼の継続
 - ・二輪車関係団体へのG・防登録推進協力依頼の要請
 - (4) 二輪車関係イベント等における広報活動の積極的推進
 - (5) G・防帳票活用状況の調査
 - (6) 個人情報管理の徹底
 - ・個人情報の適正な保管管理の徹底と検証・指導
- 二輪車盗難照会システムの普及促進
- (1) 加盟店の加入促進
 - ・目標3,500店（平成21年G・防実績12件～対象）
 - (2) 未稼働店に対する活用PRの継続推進
 - (3) 個人情報管理の徹底
 - ・個人情報の適正な保管管理の徹底と検証・指導
- 3 新公益法人制度移行申請予定変更への対応
- (1) 経済的基盤の確認
 - (2) 移行内容の再構築
 - (3) その他



平成22年度通常総会・意見交換会

強い危機感を共有し事業運営に努める

全国二普協会長 福井 威夫

皆さん今晚は、この度、全国二輪車安全普及協会会長に就任いたしました福井でございます。青木前会長同様よろしくお願い申し上げます。

意見交換会の開催に当りまして一言ご挨拶申し上げます。

本日は石井隆之警察庁交通局長様をはじめ二輪車関係団体の皆様には、ご多忙中にもかかわらず多数ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、本席には昨年のグッドライダー・防犯登録実績優秀県及び優良県として、また、二輪車の交通安全普及活動実績優秀県として本日、表彰を受けましたそれぞれの県二普協の代表者も出席しております。是非ご出席の皆様からお祝いの言葉やご激励をいただければ、大きな喜びと励みになるのではないかと思います。

さて、先程の通常総会では二普協事業活動全般にわたり報告を行い、皆様のご審議をいただきましたが、

ご承知のように国内二輪車市場を取り巻く非常に厳しい状況下の中で、今後、二普協活動はどうあるべきなのか、お客様や社会は何を我々に期待しているのか、今一度皆様と共に考え、その具現化に向けて早急に対応をしていかなければならないと考えております。

強い危機感を皆様と共有しながら、会長として事業運営に努めて参りたいと思っておりますので、改めまして皆様のご理解、支援をよろしくお願い申し上げます。

限られた時間での意見交換会ではございますが、ご歓談いただき、平素の二普協活動につきましてお気付きの点がございましたら、忌憚のないご意見を頂ければと思います。

終わりに 本日ご出席の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。



平成22年度通常総会・意見交換会

二輪の利用改善へ業界全体で活動を

日本自動車工業会二輪車特別委員会企画部会部会長 世古 俊晴

ただいまご紹介をいただきました日本自動車工業会二輪車特別委員会規格部会長の世古と申します。本日はこのような場にお招きをいただきまして誠にありが

とうございました。本来ですと、二特委員長の柳がご挨拶申し上げるところでございますが、所用がございまして私が代わりに勤めさせていただきます。

まずは、全国二普協の通常総会が無事成功裏に終了されたこと、誠にありがとうございます。

二輪の安全普及につきましては、日頃から多大なご尽力を賜りまして誠にありがとうございます。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

さて、自工会では、日頃から二輪車の利用改善やイメージアップの活動を行っております。しかしながら、この10年を振り返ってみますと、国内の二輪需要が約半減という大変厳しい状況となっております。

そんな中、昨年の秋ですが、今後の交通社会における二輪車の有効なあり方がどのようなものかということ調査・研究し、まとめました。マスコミ発表や関係省庁へお願いに上がりました。皆様方に関係するところでは、特に125ccの免許の取得容易化が挙げられ

ます。1日ないし2日の技能講習で、より簡単に免許が取れるようなことを望んでいるものですが、もちろんいうまでもなく、実現のためには安全の確保が大変重要な課題となっております。我々自工会も日頃から皆様方と協力して、いろいろな安全運転の教育活動を行っていますが、今一度、業界全体でこの活動を大きく推進していきたいと考えておりますので、今日は警察庁の方々もご来賓でお見えになっておられますが、ご指導・ご鞭撻をいただきながらご協力のほどお願いしたいと思っています。

最後になりますが、会場にいらっしゃいます皆様方のますますのご繁栄を祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。

平成22年度通常総会・意見交換会



二輪業界の社会的評価が高まるよう

全日本交通安全協会 中澤 見山専務理事

今日は総会ご苦労様でございました。この二普協の交通安全や盗難防止をはじめとする活動は、社会の安全に大きく貢献していると考えます。皆様のご活躍が二輪車に対するイメージアップ、また二輪車業界に対する社会的評価を大いに高め、ひいては二輪車が国内

でもたくさん売れるようになるなど、よい方向に回転するように祈っております。

それでは、ご指名でございますので、杯を高らかに上げたいと思います。ご唱和をお願いします。乾杯！

……青木前会長退任挨拶……

私が在職しましたこの2年間はとても変化の大きい経営環境下でありました。その中で二輪車業界も大変厳しい状況でございました。

まずは、二輪車のビジネスを活性化することが、重要なテーマですので、これはメーカー、販売店様、関係者の方々が一丸となって、引き続き努力することが必要でございます。二輪車については言うまでもなく安全が大変重要ですので、今後とも継続して、安全運転の普及に向けた活動を推進していくことが必要でございます。

また、普及推進のあり方も、新しい時代の中で、現在着手している全国二普協の新公益法人改革も考慮しながら、見直しをしていかなければならな

いと思います。

いずれにしても、2年間皆様方のご協力ご支援をいただきまして、任期を全うできましたことは、感謝の念に堪えません。今後、皆様方の益々のご活躍を祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。



全国二普協、新会長に福井威夫・本田技研工業(株)取締役相談役

新専務理事には國枝英郎が就任

全国二普協は、5月21日に開催した平成22年度通常総会において、青木哲会長の後任に福井威夫・本田技研工業(株)取締役相談役を選任しました。また、古川定昭専務理事が退任し、後任に國枝英郎氏を選任しました。



福井会長



國枝専務理事



福井新会長(左)と青木前会長(右)が
がっちり握手

【福井会長の略歴】

▽昭和44年 本田技研工業(株)入社▽昭和58年 (株)ホンダレーシング取締役▽昭和60年 同副社長▽昭和62年 同社長兼(株)本田技術研究所常務▽昭和63年 本田技研工業(株)取締役▽平成2年 (株)本田技術研究所専務▽平成3年 本田技研工業(株)二輪車開発統括部長▽平成4年 同二輪本部浜松製作所長▽平成6年 ホンダオブアメリカマニュファクチュアリング・インコーポレーテッド副社長▽平成8年 同社長兼本田技研工業(株)常務▽平成10年 (株)本田技術研究所社長▽平成11年 本田技研工業(株)専務▽平成15年 同社長▽平成21年 取締役相談役



【國枝専務理事の略歴】

▽昭和41年 警察庁警備局人事課採用▽昭和44年 大阪府警察本部警務部万国博覧会对策室指導官▽昭和45

年 警察庁長官官房企画審査官付▽昭和47年 埼玉県警察本部交通部交通企画課長▽昭和48年 警察庁交通局運転免許課課長補佐▽昭和50年 同警備局外事課付(外務省研修所入所)▽昭和51年 在スウェーデン日本国大使館一等書記官▽昭和52年 在連合王国日本国大使館一等書記官▽昭和55年 警察庁警備局付(内閣官房内閣調査室)▽昭和56年 同外事課理事官▽昭和57年 同公安第一課理事官▽昭和59年 同外事課外事調査官兼公安第一課理事官▽昭和59年 同公安第三課調査官兼外事課付▽昭和62年 同外事課長▽昭和63年 山口県警察本部長▽平成3年 内閣官房内閣調査官▽平成5年 京都府警察本部長▽平成6年 九州管区警察局長▽平成8年 辞職、(財)国際交通安全学会専務理事▽平成13年 日本鉄道建設公団監事▽平成15年 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構監事▽平成19年 戸田建設(株)顧問

全国二普協・新役員名簿(敬称略)

(平成22年5月21日現在)

▽会 長(兼副会長) = 福井威夫

▽専務理事 = 國枝英郎

▽常務理事 = 中藺善廣

▽常任理事 = 井内正晴、松尾光明、次廣 章、河野健二、成田睦郎、大沢利方、池本憲治、原 淳一郎、中山 章

▽理 事 = 宮壽拓郎、中澤見山、水田龍二、石黒寿佐夫、奥村浩二、川口博晴、遠藤貞夫、古川道夫、比嘉勝彦

▽監 事 = 藤井隆史、木内正明、赤間俊一、大濱繁治

山梨県に警察庁・全国二普協連名表彰 大分・京都・広島・山口・福岡・静岡には会長表彰

—グッドライダー・防犯登録実績／交通安全普及活動実績表彰—



通常総会時に行われる恒例のG・防犯登録制度の推進に功績のあった都府県二普協に対する表彰。今年度は「グッドライダー・防犯登録実績優秀県」として、山梨県に警察庁交通局長・生活安全局長・全国二普協会長の3者連名による表彰が、また「グッドライダー・防犯登録実績優良県」として大分県・京都府・広島県・山口県・福岡県に全国二輪車安全普及協会会長賞が授与された。さらに、今年度から創設された「二輪車交通安全普及活動実績優秀県」として静岡県に全国二普協会会長賞が授与された。

受賞を受け、山梨県二輪車安全普及協会の荻原公明会長が謝辞を述べた。

安全意識と交通事故防止により一層積極的に取り組む

謝 辞

本日は、「グッドライダー・防犯登録表彰式」にあたり、栄えある受賞をいただき、誠にありがとうございます。

山梨県二輪車安全普及協会、198会員を代表してお礼の言葉を申し上げます。

私どもでは、日頃から二輪車の安全運転講習会の推進に取り組むとともに、「グッドライダー・防犯登録制度」や「二輪車盗難情報照会システム」等を通じて、盗難の予防と被害の早期回復を社会的責務として、推進しているところであります。

また、この制度の実施にあたり、県警本部のご指導を賜るとともに、販売店の方々のご協力をいただきながら、グッドライダー・防犯登録等、各



種事業に積極的に推進し、交通安全意識の高揚を働きかけていきたいと思っております。

本日の受賞を契機として、安全意識と交通事故防止に、より一層積極的に取り組むこととお誓い申し上げます。甚だ簡単ではございますが謝辞と致します。

本日は、誠にありがとうございました。

平成22年5月21日

山梨県二輪車安全普及協会会長 荻原 公明

G・ミーティング 5県で初開催

沖縄 香川 長崎 福岡 秋田

昨年7月～今年6月までの1年間で、新たに5県がG・ミーティングを初めて開催しました。

なお、全国二普協ではG・ミーティングのより効率的な運営を支援するため、告知用統一ポスター・チラシを作成したほか、このほど「指導員マニュアル」を作成しました。積極的なご活用をお願いします。

沖縄

独自のシールを初使用



香川

初めての県単独開催



長崎

交通機動隊員が協力



福岡

教習所指導員が協力



秋田

旧秋田空港跡地で実施



静岡・東京・神奈川の3都県二普協 都府県警察等から感謝状

～交通事故防止活動や犯罪抑止対策など～

静岡県二輪車安全普及協会、東京都二輪車安全普及協会、神奈川県二輪車安全普及協会の3都県二普協は、日頃行っている交通事故防止活動や犯罪抑止対策などへの貢献に対して、各都県警察等からそれぞれ感謝状を贈呈されました。

静岡県二普協は二輪車事故防止活動など交通安全への取り組みに対して県警本部交通部長から、東京都二普協はひたたく撲滅対策の積極的な推進に対して警視庁犯罪抑止対策本部長から、神奈川県二普協は交通安全教育の推進など交通事故抑止への貢献に対して県交通安全対策協議会会長（県知事）から、それぞれ感謝状を受けました。

会員の皆様の日頃の二普協事業への積極的な取り組みが実を結んだものといえます。おめでとうございます。引き続き二普協事業へのご協力をお願いします。



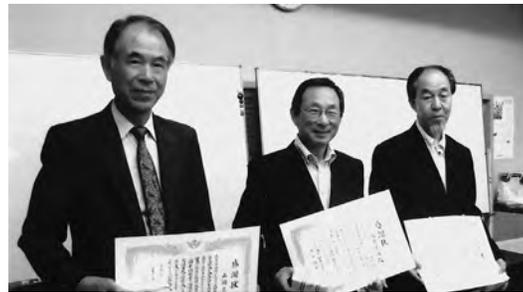
静岡県警本部での表彰式

坂井(埼玉)・佐藤(千葉)・山岡(長野)・金子(大阪)の 都府県二普協前専務理事4氏に感謝状

～永年にわたる功績を称える～

永年にわたる二輪車安全普及活動及び防犯対策事業の推進に当たられ、所管官庁及び関係団体から高い評価を受けた功績を称え、坂井豊治前埼玉県二普協専務理事、佐藤勲前千葉県二普協専務理事、山岡正義前長野県二普協専務理事、金子義道前大阪府二普協専務理事の4氏に、全国二輪車安全普及協会福井会長より感謝状を贈呈しました。

永年のご功勞に感謝申し上げます。



感謝状を贈呈された、左から山岡氏、坂井氏、佐藤氏



国枝全国二普協専務理事から感謝状を贈呈される金子氏

山梨二普協、運輸支局の街頭検査に協力

～不正改造防止や無保険など指導～

山梨県二輪車安全普及協会は、国土交通省山梨運輸支局が実施した街頭検査に協力。指導員資格と認証工場を持つ会員4人が参加しました。

この街頭検査は、国交省が展開する「不正改造車を排除する運動」に関連して実施されたものであり、平成19年から参加しているものです。

山梨二普協では、二輪車に対して点検や整備不良、無保険車に対する指導を行ったほか、G・防犯登録制度への加入を呼びかけました。



県立美術館で実施された街頭検査

この取り組みのように、街頭検査への協力は二普協事業の効果的な実施に向けた好事例といえます。同様の街頭検査を行っている各都府県・地区二普協においても積極的な参加をお願いします。

5月末の交通事故死者数は前年比53人減

— 二輪車乗車中は2人増 —

(平成22年5月末/警察庁資料)

	自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全死者数		
	22年 5月末	増減数	21年 5月末									
北海道	3	1	2	0	0	0	3	1	2	66	5	61
東 青森	2	2	0	0	-1	1	2	-1	1	21	4	17
岩手	0	0	0	0	-1	1	0	-1	1	20	1	19
宮城	2	0	2	2	2	0	4	2	2	30	-10	40
北 秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	-2	20
山形	0	0	0	0	-1	1	0	-1	1	12	-5	17
福島	1	0	1	2	1	1	3	1	2	33	3	30
計	5	2	3	4	0	4	9	2	7	134	-9	143
東 京	17	-1	18	12	8	4	29	7	22	87	9	78
関 茨城	3	0	3	9	4	5	12	4	8	75	-14	89
栃木	5	3	2	6	0	6	11	3	8	58	5	53
群馬	0	-1	1	1	-2	3	1	-3	4	33	-6	39
埼玉	10	1	9	3	-8	11	13	-7	20	71	-11	82
千葉	8	-4	12	2	-3	5	10	-7	17	65	-6	71
東 神奈川	15	-5	20	6	1	5	21	-4	25	74	4	70
新潟	6	5	1	1	0	1	7	5	2	38	-5	43
山梨	3	-2	5	2	-2	4	5	-4	9	20	3	17
長野	0	-4	4	3	0	3	3	-4	7	42	9	33
静岡	7	1	6	4	0	4	11	1	10	63	-8	71
計	57	-6	63	37	-10	47	94	-16	110	539	-29	568
中 富山	1	1	0	0	-1	1	1	0	1	14	-3	17
石川	1	-1	2	1	1	0	2	0	2	26	5	21
福井	1	1	0	0	-2	2	1	-1	2	13	-8	21
東 岐阜	3	0	3	2	-1	3	5	-1	6	49	2	47
愛知	11	1	10	8	0	8	19	1	18	89	-3	92
三重	3	-1	4	3	3	0	6	2	4	44	-4	48
計	20	1	19	14	0	14	34	1	33	235	-11	246
近 滋賀	3	3	0	5	3	2	8	6	2	32	9	23
京 都	4	-4	8	6	3	3	10	-1	11	36	-7	43
東 大阪	17	2	15	5	-5	10	22	-3	25	71	-21	92
兵 庫	7	-2	9	4	3	1	11	1	10	74	4	70
畿 奈 良	4	3	1	1	-1	2	5	2	3	18	-1	19
和歌山	4	0	4	2	1	1	6	1	5	19	-1	20
計	39	2	37	23	4	19	62	6	56	250	-17	267
中 鳥取	0	-2	2	0	-1	1	0	-3	3	20	5	15
島 根	1	1	0	3	2	1	4	3	1	11	3	8
岡 山	1	0	1	5	3	2	6	3	3	40	1	39
東 広島	8	5	3	4	0	4	12	5	7	54	-7	61
山 口	5	2	3	1	-1	2	6	1	5	41	2	39
計	15	6	9	13	3	10	28	9	19	166	4	162
四 德島	1	0	1	2	1	1	3	1	2	20	3	17
香 川	1	-3	4	1	-2	3	2	-5	7	19	-10	29
愛 媛	1	-3	4	2	0	2	3	-3	6	25	-5	30
高 知	4	2	2	0	-2	2	4	0	4	19	4	15
計	7	-4	11	5	-3	8	12	-7	19	83	-8	91
九 福 岡	13	5	8	4	1	3	17	6	11	75	-4	79
佐 賀	4	2	2	0	-1	1	4	1	3	20	8	12
長 崎	4	0	4	0	-3	3	4	-3	7	28	0	28
熊 本	2	-2	4	4	3	1	6	1	5	32	0	32
大 分	1	1	0	1	1	0	2	2	0	26	15	11
宮 崎	2	0	2	0	-3	3	2	-3	5	24	-9	33
鹿 児 島	1	1	0	2	-2	4	3	-1	4	34	-8	42
沖 縄	3	-4	7	2	0	2	5	-4	9	21	1	20
計	30	3	27	13	-4	17	43	-1	44	260	3	257
合 計	193	4	189	121	-2	123	314	2	312	1,820	-53	1,873

グッドライダー・防犯登録、累計278万件を突破

— 保有台数比22.9% 地域格差の解消が課題 —

(社)全国二輪車安全普及協会
(平成22年 7月13日現在)

※ 出荷実績当月確定。

	都道府県	H22.1月～ H22.6月	H21年3月末	H21年12月末	H22年	H22年1～6月		H14年削除		累計	
		出荷台数 A	保有台数 B	7年満期削除済み C	6月 受入 D	登録 E	出荷 台数比(E/A) F	6月 F	1～6月 G	H(C+E-G)	H21年保有 台数比(H/B)
北海道	北海道	1,948	220,197	13,371	206	785	40.3	0	401	13,755	6.2
東北	青森県	686	89,758	12,637	132	580	84.5	263	579	12,638	14.1
	岩手県	895	110,241	11,532	112	545	60.9	321	919	11,158	10.1
	宮城県	3,212	185,164	53,757	518	3,163	98.5	566	3,265	53,655	29.0
	秋田県	395	63,012	3,680	33	166	42.0	53	216	3,630	5.8
	山形県	608	86,218	7,615	88	416	68.4	175	531	7,500	8.7
	福島県	1,363	157,183	11,957	122	570	41.8	148	883	11,644	7.4
	合計	7,159	691,576	101,178	1,005	5,440	76.0	1,526	6,393	100,225	14.5
関東	東京都	18,128	1,066,708	307,476	2,152	12,626	69.6	4,697	23,411	296,691	27.8
	茨城県	3,176	250,650	23,799	269	1,828	57.6	402	967	24,660	9.8
	栃木県	2,233	178,606	16,862	142	747	33.5	197	847	16,762	9.4
	群馬県	1,979	169,203	18,705	188	1,041	52.6	353	1,597	18,149	10.7
	埼玉県	11,306	593,137	190,282	1,686	9,242	81.7	2,347	10,795	188,729	31.8
	千葉県	7,975	496,570	78,283	674	4,177	52.4	905	5,241	77,219	15.6
	神奈川県	17,780	972,168	193,337	2,093	10,495	59.0	2,117	12,924	190,908	19.6
	新潟県	1,544	199,862	13,810	162	650	42.1	264	1,192	13,268	6.6
	山梨県	1,582	119,519	36,130	291	2,383	150.6	396	2,166	36,347	30.4
	長野県	1,868	215,376	34,353	253	1,282	68.6	743	3,171	32,464	15.1
合計	67,571	4,261,799	913,037	7,910	44,471	65.8	12,421	62,311	895,197	21.0	
中部	静岡県	8,224	460,471	46,513	704	3,526	42.9	336	2,527	47,512	10.3
	富山県	546	57,634	3,834	59	276	50.5	0	0	4,110	7.1
	石川県	764	68,148	7,927	85	336	44.0	112	945	7,318	10.7
	福井県	601	43,803	5,183	122	311	51.7	0	0	5,494	12.5
	岐阜県	1,380	128,542	5,639	196	741	53.7	13	42	6,338	4.9
	愛知県	9,146	525,168	66,320	897	5,992	65.5	170	371	71,941	13.7
	三重県	2,731	191,383	40,545	426	1,998	73.2	298	3,117	39,426	20.6
合計	23,392	1,475,149	175,961	2,489	13,180	56.3	929	7,002	182,139	12.3	
近畿	滋賀県	1,917	138,406	61,290	449	2,836	147.9	927	4,392	59,734	43.2
	京都府	8,830	411,805	131,406	1,130	7,091	82.2	1,798	9,469	129,028	31.3
	大阪府	19,387	1,023,521	363,750	3,505	21,230	109.5	1,694	11,241	373,739	36.5
	兵庫県	8,555	643,717	81,049	1,394	8,330	97.4	545	3,108	86,271	13.4
	奈良県	2,955	203,545	28,292	175	1,165	39.4	297	2,104	27,353	13.4
	和歌山県	3,577	216,439	58,099	374	2,385	66.7	988	4,995	55,489	25.6
合計	45,021	2,637,433	723,886	7,027	43,037	95.6	6,249	35,309	731,614	27.7	
中国	鳥取県	380	34,928	10,290	53	364	95.8	190	785	9,869	28.3
	島根県	816	56,235	23,926	196	1,118	137.0	342	1,776	23,268	41.4
	岡山県	3,154	208,599	106,659	820	5,172	164.0	1,353	7,102	104,729	50.2
	広島県	7,796	379,258	293,263	2,294	14,574	186.9	3,838	20,146	287,691	75.9
	山口県	2,040	125,698	52,917	230	2,471	121.1	525	3,301	52,087	41.4
合計	14,186	804,718	487,055	3,593	23,699	167.1	6,248	33,110	477,644	59.4	
四国	徳島県	1,250	94,723	11,064	199	774	61.9	94	512	11,326	12.0
	香川県	2,124	129,138	5,379	115	1,094	51.5	10	241	6,232	4.8
	愛媛県	4,720	238,608	132,900	1,325	7,682	162.8	1,495	7,517	133,065	55.8
	高知県	2,030	120,746	31,188	478	1,883	92.8	436	2,229	30,842	25.5
合計	10,124	583,215	180,531	2,117	11,433	112.9	2,035	10,499	181,465	31.1	
九州	福岡県	7,602	439,773	52,049	441	3,038	40.0	462	3,458	51,629	11.7
	佐賀県	730	70,352	1,469	16	119	16.3	4	50	1,538	2.2
	長崎県	2,487	171,644	15,919	77	580	23.3	226	1,140	15,359	8.9
	熊本県	4,187	205,040	41,592	327	2,500	59.7	444	3,139	40,953	20.0
	大分県	1,932	123,439	13,303	131	857	44.4	120	953	13,207	10.7
	宮崎県	1,673	105,295	14,970	110	727	43.5	375	1,345	14,352	13.6
	鹿児島県	3,583	212,211	57,202	215	1,871	52.2	1,437	5,560	53,513	25.2
	沖縄県	2,552	163,150	14,593	451	2,251	88.2	370	789	16,055	9.8
合計	24,746	1,490,904	211,097	1,768	11,943	48.3	3,438	16,434	206,606	13.9	
合計	194,147	12,164,991	2,806,116	26,115	153,988	79.3	32,846	171,459	2,788,645	22.9	

二輪車盗難件数、前年比12.8%減 —被害回復率38.1%、26県で回復率アップ—

(平成22年6月30日現在/警察庁資料)

盗難認知/被害回復状況

(年間比較)

<警察庁情報>

(1~6月比較)

社団法人 全国二輪車安全普及協会

都道府県	G防普及率 H22年6月	平成20年			平成21年			平成21年 1~6月			平成22年 1~6月			
		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	
北海道	6.2	598	344	57.5	499	266	53.3	217	103	47.5	135	57	42.2	
青森県	14.1	73	53	72.6	58	29	50.0	18	10	55.6	20	10	50.0	
岩手県	10.1	49	35	71.4	53	34	64.2	22	11	50.0	15	14	93.3	
宮城県	29.0	1,298	700	53.9	1,009	514	50.9	489	256	52.4	432	221	51.2	
秋田県	5.8	15	13	86.7	26	10	38.5	5	2	40.0	8	6	75.0	
山形県	8.7	38	23	60.5	46	21	45.7	13	6	46.2	30	17	56.7	
福島県	7.4	203	102	50.2	208	121	58.2	93	63	67.7	102	53	52.0	
東北計	14.5	1,676	926	55.3	1,400	729	52.1	計	640	348	54.4	607	321	52.9
東京都	27.8	7,262	2,020	27.8	6,548	1,825	27.9	東京都	3,203	873	27.3	3,274	896	27.4
茨城県	9.8	1,731	259	15.0	1,844	325	17.6	茨城県	783	152	19.4	789	166	21.0
栃木県	9.4	630	180	28.6	558	106	19.0	栃木県	289	22	7.6	239	37	15.5
群馬県	10.7	663	235	35.4	534	201	37.6	群馬県	342	86	25.1	247	57	23.1
埼玉県	31.8	5,433	1,163	21.4	5,633	949	16.8	埼玉県	2,837	463	16.3	3,000	371	12.4
千葉県	15.6	4,201	1,727	41.1	4,606	1,684	36.6	千葉県	2,026	715	35.3	2,172	862	39.7
神奈川県	19.6	7,731	3,086	39.9	7,345	3,158	43.0	神奈川県	3,911	1,598	40.9	3,208	1,353	42.2
新潟県	6.6	200	57	28.5	183	88	48.1	新潟県	61	38	62.3	71	26	36.6
山梨県	30.4	447	243	54.4	419	195	46.5	山梨県	190	101	53.2	296	100	33.8
長野県	15.1	216	89	41.2	337	131	38.9	長野県	151	40	26.5	82	41	50.0
関東計	21.0	28,514	9,059	31.8	28,007	8,662	30.9	計	13,793	4,088	29.6	13,378	3,909	29.2
静岡県	10.3	1,793	1,046	58.3	1,744	913	52.4	静岡県	888	469	52.8	743	385	51.8
富山県	7.1	107	91	85.0	89	66	74.2	富山県	45	32	71.1	31	19	61.3
石川県	10.7	201	92	45.8	167	70	41.9	石川県	80	39	48.8	60	26	43.3
福井県	12.5	104	51	49.0	112	83	74.1	福井県	44	36	81.8	38	23	60.5
岐阜県	4.9	712	352	49.4	785	460	58.6	岐阜県	366	197	53.8	231	145	62.8
愛知県	13.7	4,718	877	18.6	5,238	906	17.3	愛知県	2,572	473	18.4	2,304	504	21.9
三重県	20.6	779	425	54.6	806	415	51.5	三重県	379	206	54.4	337	195	57.9
中部計	12.3	8,414	2,934	34.9	8,941	2,913	32.6	計	4,374	1,452	33.2	3,744	1,297	34.6
滋賀県	43.2	736	338	45.9	843	355	42.1	滋賀県	431	168	39.0	368	105	28.5
京都府	31.3	4,191	1,787	42.6	4,072	1,561	38.3	京都府	1,945	754	38.8	1,456	532	36.5
大阪府	36.5	12,305	4,162	33.8	12,510	3,787	30.3	大阪府	6,193	1,841	29.7	4,753	1,674	35.2
兵庫県	13.4	5,990	2,287	38.2	6,483	2,313	35.7	兵庫県	3,154	1,205	38.2	2,794	1,063	38.0
奈良県	13.4	1,406	641	45.6	1,146	553	48.3	奈良県	641	263	41.0	389	137	35.2
和歌山県	25.6	1,120	671	59.9	1,045	600	57.4	和歌山県	650	339	52.2	269	132	49.1
近畿計	27.7	25,748	9,886	38.4	26,099	9,169	35.1	計	13,014	4,570	35.1	10,029	3,643	36.3
鳥取県	28.3	43	25	58.1	31	9	29.0	鳥取県	11	5	45.5	20	13	65.0
島根県	41.4	41	30	73.2	31	18	58.1	島根県	18	10	55.6	13	10	76.9
岡山県	50.2	1,106	706	63.8	1,115	669	60.0	岡山県	586	372	63.5	598	354	59.2
広島県	75.9	1,418	929	65.5	1,378	755	54.8	広島県	697	400	57.4	606	351	57.9
山口県	41.4	246	134	54.5	242	123	50.8	山口県	116	71	61.2	110	67	60.9
中国計	59.4	2,854	1,824	63.9	2,797	1,574	56.3	計	1,428	858	60.1	1,347	795	59.0
徳島県	12.0	148	82	55.4	117	47	40.2	徳島県	47	21	44.7	58	34	58.6
香川県	4.8	707	280	39.6	779	387	49.7	香川県	336	170	50.6	359	194	54.0
愛媛県	55.8	908	435	47.9	1,109	568	51.2	愛媛県	479	251	52.4	668	269	40.3
高知県	25.5	713	400	56.1	803	390	48.6	高知県	422	191	45.3	263	170	64.6
四国計	31.1	2,476	1,197	48.3	2,808	1,392	49.6	計	1,284	633	49.3	1,348	667	49.5
福岡県	11.7	6,352	4,000	63.0	7,421	4,410	59.4	福岡県	3,392	2,082	61.4	2,887	1,806	62.6
佐賀県	2.2	248	152	61.3	286	162	56.6	佐賀県	163	88	54.0	157	104	66.2
長崎県	8.9	214	84	39.3	294	151	51.4	長崎県	101	58	57.4	101	96	95.0
熊本県	20.0	954	724	75.9	1,040	810	77.9	熊本県	562	421	74.9	276	212	76.8
大分県	10.7	373	199	53.4	432	215	49.8	大分県	227	97	42.7	188	100	53.2
宮崎県	13.6	175	106	60.6	160	118	73.8	宮崎県	81	53	65.4	71	45	63.4
鹿児島県	25.2	512	271	52.9	732	475	64.9	鹿児島県	313	137	43.8	256	144	56.3
沖縄県	9.8	1,246	356	28.6	1,204	428	35.5	沖縄県	632	199	31.5	541	178	32.9
九州計	13.9	10,074	5,892	58.5	11,569	6,769	58.5	計	5,471	3,135	57.3	4,477	2,685	60.0
	22.9	80,354	32,062	39.9	82,120	31,474	38.3	全県合計	40,221	15,187	37.8	35,065	13,374	38.1

(注) G-防普及率
6月末G防累計件数
H21年3月保有台数

<H20対H21比較>

①盗難認知件数 **+1,766** **+2.2%**

-前年同期間比較

②認知件数の増減(県の数)

県数	
認知増県数	15
認知減県数	31
計	46

③認知件数 **-5,156** **-12.8%**

③回復率の増減(県の数)

県数	
回復率ダウン	21
回復率アップ	26
計	47

2010年日本APEC首脳会議等 開催に伴う警備協力について 全国二普協からのお願い

標記につきましては、本年5月25日付全国二普協会長名で都府県・地区二普協会長宛に、既に協力依頼の文書を発出しているところですが、本年11月10日から同14日にかけて神奈川県横浜市で関係閣僚会議及び首脳会議が開催され、また、6月から11月にかけて全国各地で様々な関係会合の開催が予定されております。先の文書でも申し述べましたとおり、本会議開催をめぐっては国際テロリストや反グローバリズムを掲げる勢力及び極左暴力集団や右翼による事件等の発生が

懸念され非常に厳しい情勢下にあるといわれております。

警察では全国警察を挙げて警備諸対策を推進しているところであり、この度、警察庁警備局長から当協会会長に対し本警備に対する協力要望の文書が届いております。具体的には

- ① 不審者・不審物発見時や関係情報等入手時の警察への通報連絡の徹底
 - ② 首脳閣僚等の来日期間中における会議等関連地区でのイベントや工事等の自粛・車両乗り入れの自粛等交通総量抑制に対する協力
 - ③ 自動車検問等の警察活動に対する協力
- 等です。皆様には先にお届けしました文書を再確認のうえ、それぞれの関係する都府県・地区二普協において積極的なご協力をお願いします。

編 集 後 記

平成22年度通常総会は、本年も皆様のご支援・ご協力により滞りなく終了することができました。皆様には改めて厚く御礼申し上げます。

本年度は役員改選期にあたり、特に会長・専務理事が同時に交代という当協会にとりましては、誠に大きな節目の年となりました。青木前会長には在任僅か2年という短い期間ではございましたが、世界的経済危機や国内二輪車市場の環境悪化等大変厳しい諸情勢下での会長職をお務めいただきました。私達は青木前会長のご指導をいただきながら、二輪車をめぐる環境の変化に対応した二普協活動を粛々と推進することで、概ね公益法人としての事業活動を継続し全国二普協の存在意義を示すことができました。青木前会長には心より感謝申し上げます。

今年度もわが国二輪車業界にとっては、先行き不透明な厳しいビジネス環境が続くことが予想されます。二輪車の安全と防犯という二普協基本事業の目的達成のため、私達は福井新会長の下、一致団結して最善を尽くしてまいる所存でございます。

さて、平成21年度安全普及活動についてですが、昨年の交通情勢は官民一体となった交通安全普及活動への取り組みの結果、交通事故死者数は4,914人で前年対比241人、4.7%の減少で昭和27年以来57年振りに4,000人台となりました。また、二輪車乗車中の事故死者数は886人前年対比104人、10.5%の減少で9年連続の減少となり、その内訳は原付乗車中の事故死者数は309人で前年対比64人、15.1%の減少で、また、自動二輪車乗車中の事故死者数は527人で前年対比40人、7.1%の減少でした。これらは皆さんの平素における不断的努力と関係各機関・団体との緊密な連携による成果の表れであると感謝致しております。防犯活動については、昨年は非常に厳しい市場環境にもかかわらず新車出荷台数に対するG・防犯登録率は46.8%と一

昨年から少しずつではありますが引き続き改善が認められ、二輪車の防犯という目的に確実に寄与していただいております。皆様のご理解とご尽力に感謝申し上げます。目標数値55%達成のため更なるご尽力をお願いいたします。

平成22年度は国内二輪車需要の更なる減少等、厳しい経済環境が予測されることから、重点的かつ効果的な事業活動が期待されております。安全普及活動では、店頭個別安全運転指導の更なる充実やグッドライダーミーティングの全県開催の実現等各種安全啓発活動を積極的な推進してまいります。防犯活動はG・防犯登録新車登録率55パーセント（約19万5千件）、中古車12万件的合計31万5千件の目標達成に向け尚一層の努力とご協力をお願い致します。

本年も二普協を取り巻く諸情勢は、誠に厳しく予断を許さないものがあります。このような環境下で二輪車の安全で健全な環境作りにはしっかりと取組み、その成果を挙げて二普協の存在意義を高めていかなければなりません。皆さんの一層のご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。

(謹詠)

すべからく御身ひとつにおいたまひ

日の御子はけふも凜としてみます

たかどののきざはしにはべりかしこみて

御誕辰の賀をたてまつりけり

(近詠)

雪残る飯豊のやまなみはるかなり

梅雨の晴れ間の山形路ゆく

あぜみちに桐の花咲く棚田かな

湯の街蔵王を訪ねきにけり

ライラックの花が雨降る街角に

まさかる札幌の街を旅ゆく